

共に Challenge

～挑戦するから成長できる～ NO.4

進路講座、ありがとうございました！

期末テスト、各教科担任の先生からアドバイスです。

国語

今回は、漢字、文法（助詞・助動詞）、古典（論語）、作文を出題しました。2年生の頃と比べて、1点でも多く取ろうという意欲が感じられる答案が多かったです。一方で、時間配分に苦戦し、最後まで解き終わらずに終わってしまった生徒も多くいました。今後の学習のポイントとして、学校では以下のことを指導しました。

①時間を生み出す工夫を

…時間が足りず、本来解ける問題も解けず終わってしまうということがないよう、時間を生み出す工夫をしましょう。わからない問題は後回しにする、確実に点が取れるところから解く、ワークと同じ問題には時間をかけずにすらすら解けるようにしておく、など、できることはたくさんあると思います。また、日頃の授業でのノートをとる様子を見てみると、丁寧に書こうとして時間をかけすぎてしまっている生徒もいます。すばやく、且つ、丁寧に字を書くことを、日頃から意識してみるといいと思います。

②少し前に学習したことをしっかり復習する

…今回のテストでは、2年生で学習した文法の問題があまりできていませんでした。3年生の学習内容はテスト勉強でよく復習してあったと思いますが、2年生の内容は勉強不足だった生徒が多かったように思います。同じように、きっと次のテストでは、2学期の内容はおさえられても、1学期のここから先の内容については、復習する人とそうでない人とで差が出るのが予想されます。今、ここからの学習が2学期に繋がることを自覚し、授業を大切に、また復習も丁寧にいきましょう。



社会

今回のテストの歴史は、幕末、明治時代、日清・日露戦争、第一次世界大戦、明治・対象の文化、地理は、北海道地方を主に出題しました。

歴史は、基礎的な用語や流れを問う問題の正答率が非常に高く、昨年度より、さらにテスト勉強を一生懸命励んでいたことが伝わりました。また、授業への集中力も昨年より増しており、ノートも時系列に沿ってまとめている生徒が多かったため、流れを問う問題の正答率が高かったと感じました。しかし、漢字の間違いが多かったことや資料から読み取る問題で資料を使えていない解答が多かったことが気になりました。漢字の間違いでは、「八幡製鉄所」が「幅」になっていたり、「官営模範工場」が「管」になっていたりする生徒が多かったです。長い用語でも、漢字の意味を押さえておくと間違えにくいです。例えば、「官営模範工場」では、「官（国家）が営んだ模範となる工場」と押さえておくと、漢字のミスが減ります。そして、用語の意味も理解することができます。

資料から読み取る問題では、何を指し示す資料なのかを読み取るのが大切です。資料には、要因となるものが含まれていることが多いため、どうしてその結果になるのかを考えて資料を読み解くと正答に近づけるとと思います。

地理では、2年生の範囲の分野でしたが、しっかりと復習できていました。今回は北海道でしたが、他の地方も、特色を押さえて、ノートにまとめておくと入試対策になると思います。

今後の授業でも、今回のテストを踏まえた指導をしていきます。



数学

生徒には、テスト返却時に次のように指導しました。

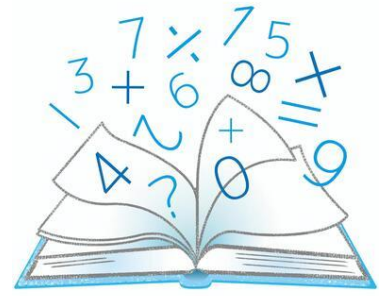
1と7のデータの分布では、知識とそれを活用した判断力の問いでした。「理由を述べなさい」という根拠を簡潔に示す訓練を、記号問題の場面で、積極的に取り入れたいです。

2、9、10の四角形では、「平行四辺形の性質」を使った角度や長さの問いと「平行四辺形になるための条件」を使った証明でした。性質の理解だけでなく、筋道の通った証明の書き方を練習したいです。また、等積変形を利用した図形の見方・捉え方を早く習得したいです。

3～6の展開や因数分解の計算では、反復練習の成果が表れ、どの問いも高い正答率でした。今後も計算練習を欠かさないでください。

11の式の利用では、答案から証明の手順に苦労する様子が見られました。式の計算部分は展開や因数分解を利用し、導き出された式を言葉を使って結論に結びつけるという学習が、今後も必要であると考えます。

夏休みまで約1か月です。1・2年生の苦手な内容をコツコツ復習しながら、3年生の新しい学習も着実に身に付けていけるよう、復習ノートや問題集を上手く活用してください。



理科

生徒には、テスト返却時に次のように指導しました。

①授業での学習を大切にしましょう。実験内容はもちろん、実験で扱った物質の名前や化学式、器具の名前、使い方を理解しましょう。

②『問題文が長すぎて、意味が分かりません』という声が聞こえました。理科では、必要な値や情報を、問題の文中から見つけて、必要な語句だけを抜き取って考える力が重要です。その練習もしていきましょう。

※とにかく授業の中で、話をよく聞きながら、考えることです。今年が一番初めの授業で話をした『観察力』『感じる力』『演じる力』を意識しながら授業に取り組みましょう。



英語

今回のテストは主に接続詞の that、現在完了形の<完了>と<継続>、使役動詞 (let など) を主に出題しました。そこから分かった生徒の強みと弱点は以下の2つです。

【強み】読解力が身につけている。

今回、上記の文法事項を盛り込んだ初見の読解問題を3題出しました(大問8, 9, 10)。授業でリーディングの練習を継続している甲斐あって、正答率は高かったです(平均点が大問8 2.3点/4点、大問7 4.9点/6点、大問8 4.4点/6点)

【弱点】熟語を覚えきれていないため、使いこなせない

be afraid of~ (～を怖がる) not ~ at all (少しも～ではない) などの熟語を出題しました(大問4 平均2.9点/8点)が、スペルミスやそもそも覚えていないという解答が目立ちました(例 afraid→*afreid)。ペーパーテストにおいて正しく書けるようになるには、書く練習をするしかありません。ワークを繰り返しやったり、1Pノートに書く練習をしたりするように指導します。また、英文を書く指導を授業でさらに取り入れ、コツを伝えていきますので、御家庭でも授業をしっかりと聞くようにお言葉かけをしていただけると嬉しいです。

